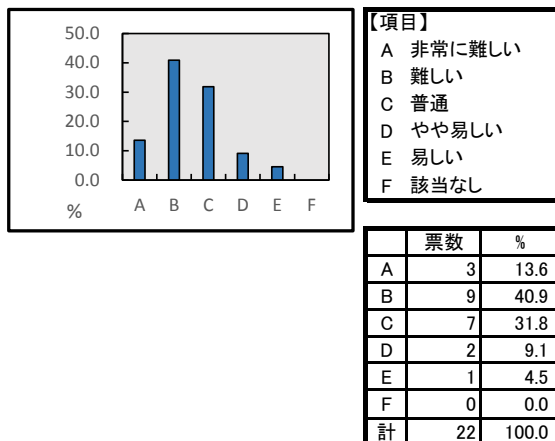


2018年度前期大学院薬学研究科薬科学専攻修士課程講義アンケートとその内容報告

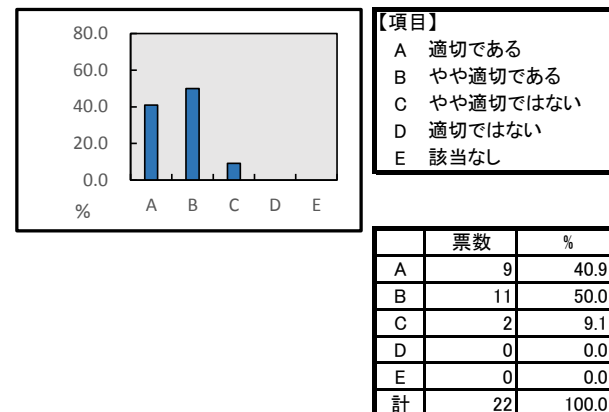
2018年7月実施

1. 講義内容について

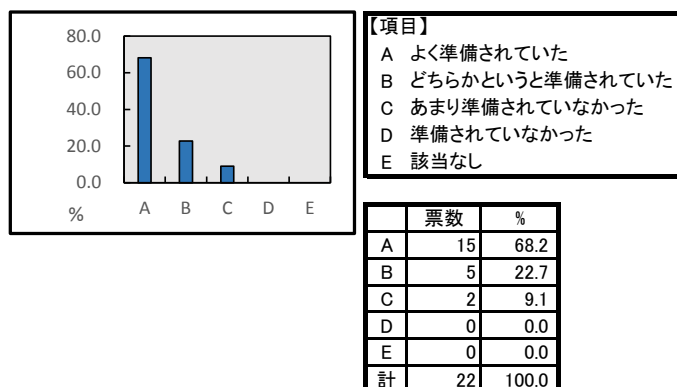
(1) 難易度について



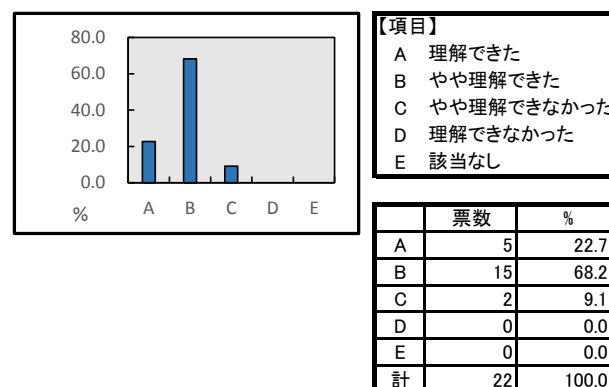
(2) 大学院講義としての適切性について



(3) 教員の準備について



(4) 理解度について



(5) 講義全体で良かった点

- ・全て英語の授業でよかった。非常に楽しい講義であった。
- ・コミュニケーションが良くできた。
- ・有機化学の基礎的な知識が学べた。
- ・よく準備された授業であった。
- ・プリントに要点をまとめ配付してくれたのがよかった。
- ・各研究室の研究内容も説明いただき、興味が湧く授業であった。
- ・少人数のため、不明な点はすぐに先生に聞くことができた。
- ・英語の発音、文法について復習できた。
- ・先生がとてもフレンドリーで接しやすかった。
- ・様々な研究分野の話が聞けた。
- ・難しい内容を易しく理解できるよう説明してくれた。
- ・ppt も詳しく、留学生としても理解できた。
- ・基本的な知識を再復習できた。

(6) 講義全体で悪かった点

- ・実験と並行してして ppt の発表が大変であった。
- ・授業の内容が難しい。
- ・予備知識がないと理解できない項目が多かった。
- ・授業ごとに専門性や難易度のレベルが統一されていない。
- ・スライドの資料を多くしてほしい。
- ・資料を配布してほしい。
- ・一部は基礎知識を教えてほしい。

2. その他、講義に対する希望やご意見などを記載してください。

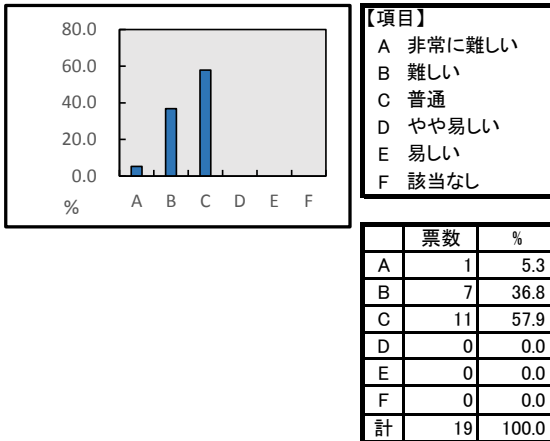
- ・もっと専門的な単語を学びたい。
- ・大学院レベルの有機全般に関する授業を受けたい。
- ・実験方法を学びたい。
- ・全ての授業で資料を配布してほしい。
- ・基礎知識に焦点を充てる授業がよかった。

2018年度前期大学院薬学研究科薬学専攻博士課程講義アンケートとその内容報告

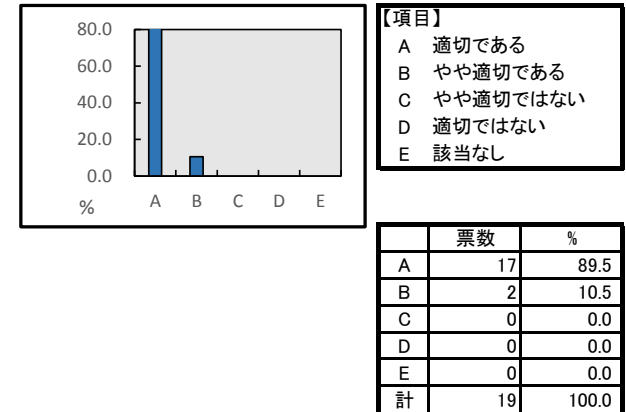
2018年7月実施

1. 講義内容について

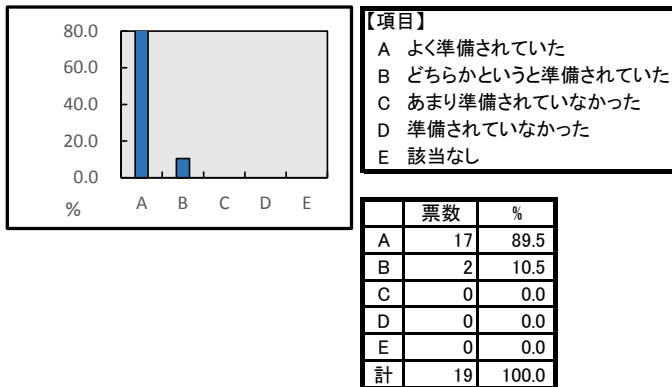
(1) 難易度について



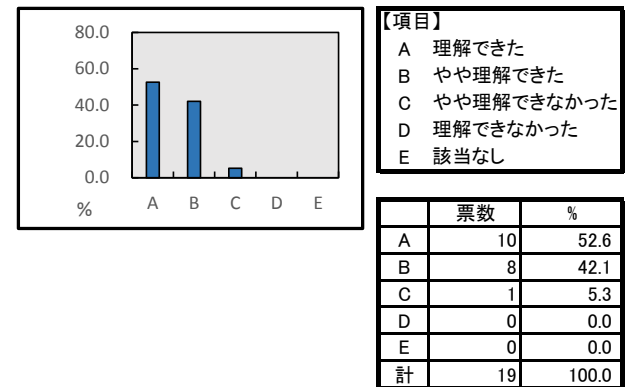
(2) 大学院講義としての適切性について



(3) 教員の準備について



(4) 理解度について



(5) 講義全体で良かった点

- 実践的な英語を学ぶことができ論文のベースが作れた。
- 普段、英語を話す機会がないので、とても良い授業だった。
- 全て英語で授業がなされ、勉強になる。資料や宿題の話題が多くて良い。
- 内容が多岐にわたっていたこと。
- ハンドアウトが配られたこと。
- 実際に講義内容に似た実験系を行うことを想定し、細かいことまで何うことができた。
- 先生がよく説明してくれた。
- 各研究室で行われている研究を知ることができた。自分の研究テーマについて、改めて振り返ることができた。
- 少人数であったため、質問やコミュニケーションがとりやすかった。
- 実際の研究事例を交えた発展的な内容だった。
- 基礎的な分子メカニズムから具体的な作用、毒性発現への流れがよくわかった。
- 先生方が実際にやっている研究を知ることができた。基礎研究の確認のための研究計画が少し知れた。
- 実際に個々の研究を英語にしてもらい、実践的であった。
- 内容が面白い。
- 普段から分析機器を使うので、原理等をよく理解できた。
- 外部講師による講演
- 学部より深い内容を扱っていた点がよかった。

(6) 講義全体で悪かった点

- 宿題が多かったこと。
- 学部と内容が重複することが多かった(基礎部分)。

2. その他、講義に対する希望やご意見などを記載してください。

- 開講日や開講年次を変えてほしい。